

平成25年度高幡地域アクションプランの追加、拡充、削除項目等について

高幡地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	野見湾産養殖カンパチの販路拡大（須崎市） 【実施主体】大谷漁協、大谷漁協ネイリ部 会、(株)みなみ丸	他産地の生産動向や県外大手出荷業者の販売戦 略に左右されにくい販売力（魚価形成力、取引量 の拡大等）の強化を図る。
2	浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大（須崎市） 【実施主体】高知県漁協深浦支所、土佐鯛 工房、乙女会、(株)大東冷蔵、(有)小島水産	他産地の生産動向や県外大手出荷業者の販売戦 略に左右されにくい販売力（魚価形成力、取引量 の拡大等）の強化を図る。
3	楠木鮮魚一を活用した南地区の活性化 （須崎市） 【実施主体】楠木鮮魚一	滞在型・体験型の観光資源及び施設を整備し、 南地区への誘客を図る。また、野見湾の地魚を中 心に鮮魚商品の販売力の向上を図る。

平成25年度 高幡地域アクションプラン（案）項目対比表

【高幡地域】

No.	現在(平成24年度)	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町
		4	8	6	7	15
1	地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上	●	●		●	
2	中山間地域での持続可能な農林業経営の確立			●	●	
3	基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化					●
4	津野山牛のブランド化			●	●	
5	大野見米のブランド化		●			
6	つの茶販売戦略				●	
7	集落営農組織のステップアップの推進					●
8	直売所・農家レストランを核とした「地消地産」の推進					●
9	四万十町地産外商の推進					●
10	四万十町のこだわり野菜を使った加工品の生産販売による地域活性化					●
11	四万十の栗再生プロジェクト					●
12	滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり					●
13	地域資源活用推進と加工場等の整備					●
14	「四万十ヒノキ」のブランド化を主体とした地域森林資源の有効活用		●			●
15	循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用			●		
16	「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進			●	●	
17	美味しい！須崎の魚(いお)消費拡大プロジェクト	●				
18	中土佐町地域ブランドの創出と販売促進		●			
19	シイラ加工の生産体制の強化					●
20	シイラ加工食品の生産拡大					●
21	須崎市まち全域がサービスエリア構想推進事業	●				
22	大正町市場商店街活性化事業		●			
23	久礼の浜屋敷整備事業		●			
24	「中土佐のうまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト		●			
25	梶原町地場産品の地産地消・外商の促進			●		
26	津野町地産地消・外商販売戦略				●	
27	四万十町拠点ビジネス体制の強化					●
28	須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備	●				
29	中土佐町の地域資源を活用した体験型観光の推進		●			
30	梶原町の体験型・滞在型観光の推進			●		
31	清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～				●	
32	わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり					●
33	四万十町観光交流促進事業					●
34	四万十町の地域経済活性化の核となる宿泊事業への取組					●

No.	改定案(平成25年度)	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町
		7	8	6	7	15
1	地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上	●	●		●	
2	中山間地域での持続可能な農林業経営の確立			●	●	
3	基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化					●
4	津野山牛のブランド化			●	●	
5	大野見米のブランド化		●			
6	つの茶販売戦略				●	
7	集落営農組織のステップアップの推進					●
8	直売所・農家レストランを核とした「地消地産」の推進					●
9	四万十町地産外商の推進					●
10	四万十町のこだわり野菜を使った加工品の生産販売による地域活性化					●
11	四万十の栗再生プロジェクト					●
12	滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり					●
13	地域資源活用推進と加工場等の整備					●
14	「四万十ヒノキ」のブランド化を主体とした地域森林資源の有効活用	●			●	
15	循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用			●		
16	「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進			●	●	
17	美味しい！須崎の魚(いお)消費拡大プロジェクト	●				
18	野見湾産養殖カンパチの販路拡大	●				
19	浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大	●				
20	楠木鮮魚一を活用した南地区の活性化	●				
21	中土佐町地域ブランドの創出と販売促進		●			
22	シイラ加工の生産体制の強化					●
23	シイラ加工食品の生産拡大					●
24	須崎市まち全域がサービスエリア構想推進事業	●				
25	大正町市場商店街活性化事業		●			
26	久礼の浜屋敷整備事業		●			
27	「中土佐のうまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト		●			
28	梶原町地場産品の地産地消・外商の促進			●		
29	津野町地産地消・外商販売戦略				●	
30	四万十町拠点ビジネス体制の強化					●
31	須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備	●				
32	中土佐町の地域資源を活用した体験型観光の推進		●			
33	梶原町の体験型・滞在型観光の推進			●		
34	清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～				●	
35	わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり					●
36	四万十町観光交流促進事業					●
37	四万十町の地域経済活性化の核となる宿泊事業への取組					●

- ①追加
- ②追加
- ③追加

有望素材シート（25年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	須崎市	素材名 関連素材	養殖カンパチ
現状・課題	<p><現状> 須崎市の野見湾は、宿毛湾と並ぶ県内の2大養殖産地で、カンパチの養殖が盛んに行われている。生産されたカンパチの大半は生産者個々が長年にわたって取引している地区内外の民間出荷業者に直接出荷し、その民間業者により各地の消費地市場へ出荷・販売されている。野見湾産カンパチは、消費地市場において従前から品質面で高い評価を得ているが、その評価は産地としての取引量や魚価に反映されていないのが現状である。そんな中、他産地との差別化を図り、消費段階での野見湾産カンパチの優位性を獲得するために、養殖生産者が部会を設立し、地元民間企業と連携して生産者の顔が見える販売への取り組みに着手した。</p> <p><課題> 養殖魚の価格形成は、生産量で優位性のある産地の生産動向、または販売や営業面で力をもつ産地の漁連や民間企業の販売戦略の影響を受け易く、品質を一定評価してもらえても、魚価や取引量は他産地の動向や思惑に左右される場面が多い。養殖カンパチでは、品質を評価し、それに見合った価格で取引してくれる取引先が無いことに加え、販路を拡げていくうえで不可欠なフィレやロイン加工処理の処理能力や衛生管理も検討課題となっている。</p>		
今後の方向性	<p>○他産地の生産動向や県外の漁連・民間企業等の販売戦略に左右されない販売力（魚価形成、取引数量等）の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質の優位性を取引価格等で評価してくれる取引先をターゲットとした営業活動による販路拡大 ・品質面だけでなく生産履歴や生産者の顔、産地が見える情報発信による差別化の強化 ・ニーズに対したきめ細かなサービス等の提供及びコスト軽減も含めたハード対策の充実 ・安定的かつ継続的な取引に不可欠な品質の維持・向上 		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	野見湾産養殖カンパチの販路拡大			
	関係市町村名	須崎市			
事業の概要	<p>1 販路開拓と出荷体制の強化 販促資材の作成、シーフードショーやシェフツアーなど商談会等への参加、業務筋（個店）への直接営業活動 顧客ニーズに対応できる多様な出荷体制に必要なハード対策（出荷調整小割等の整備）</p> <p>2. 品質の維持・向上 グループ内における養殖カンパチの品質の安定化に向けた取り組み</p> <p>3. 加工体制の強化 加工体制の整備及び機能強化に向けた検討</p>				
事業主体等	<p>【事業主体】 ・大谷漁協、大谷漁協ネイリ部会、（株）みなみ丸</p> <p>【関係機関】</p>				
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H25】	1年後【H26】	2年後【H27】	3年後【H28以降】
	販路開拓と出荷体制の強化	販促資材の作成 業務筋等への直接営業 国内商談会への参加・視察	業務筋等への直接営業 国内商談会への参加	業務筋等への直接営業 国内商談会への参加	業務筋等への直接営業 国内商談会への参加
	品質の維持・向上	グループ内における養殖カンパチの品質の安定化に向けた取り組みの実施			
加工体制の強化	地域での加工体制の整備及び機能強化(加工施設の拡充等)				
指標・目標	項目	事業実施【H25】	1年後【H26】	2年後【H27】	3年後【H28以降】
	出荷量	1,600尾	3,200尾	6,400尾	12,800尾
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】 ・JF大谷ネイリ部会では、H25年度より関西圏で約600尾/年、関東圏で約1,000尾/年の出荷を目標とし、その後毎年、前年の2倍以上の取引量増加を目指す。</p> <p>【考え方】</p>			
総事業費等	<p>総事業費 21,200千円（うち25年度 1,400千円） （内訳 国： 県：10,600千円 市町村： その他：10,600千円）</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他） 国： 県：産業振興総合補助金 人的支援： その他：</p>				
備考					

追加項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
18 野見湾産養殖カンパチの販路拡大 《須崎市》	野見湾カンパチ養殖生産者グループと漁協、民間企業とが連携し、他産地の生産動向や県外大手出荷業者の販売戦略に左右されにくい販売力(魚価形成力、取引量の拡大等)を構築し、養殖業の振興に資する。	・大谷漁協 ・大谷漁協ネイリ部会 ・(株)みなみ丸			◆販路開拓と出荷体制の強化 ◆品質の維持・向上 ◆加工体制の強化

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	販路開拓と出荷体制の強化				大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸販売数量(H24:30尾)	6,400尾
	出荷調整用小割の整備					
	業務筋等への直接営業・国内商談会等への出展・参加					
	品質の維持・向上					
	グループ内での養殖カンパチにおける品質の安定化に向けた取組					
	加工体制の強化					
	加工施設の機能強化に向けた検討	加工施設の機能強化				
	衛生管理や処理能力のある加工業者との連携強化					

有望素材シート（25年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	須崎市	素材名 関連素材	養殖マダイ
現状・課題	<p><現状> 須崎市の浦ノ内湾は宿毛湾と並ぶ県内の2大養殖産地で、マダイの養殖が盛んに行われている。生産された養殖魚の一部は地元漁協によって関西消費地市場へ出荷されているが、その大半は生産者個々が長年にわたって取引している地区内外の民間出荷業者に直接出荷し、民間業者によって各地の消費地市場へ出荷・販売されている。そんな中、浦ノ内湾でマダイを養殖する複数の生産者と県内民間企業とが連携して高品質魚（ブランド魚）の生産と販売に取り組み、一定の評価と認知を得るまでに至っている。</p> <p><課題> 現在浦ノ内湾におけるマダイ養殖生産グループでは、ブランド魚の生産において生産数量が頭打ちとなっており、販路を拡大するにあたっては、グループ内での放棄尾数の増加もしくは規格魚の歩留まり向上による生産量増加が一つの課題である。 また、本県における養殖魚の価格形成は、生産量で圧倒的な優位性を誇る他産地の生産動向、販売や営業面で力をもつ他県の漁連や民間企業の販売戦略の影響を受け易く、品質を一定評価してもらえても魚価や取引量は、他県の動向や思惑に左右される場面が多い。浦ノ内湾産ブランドマダイにおいても量販店や市場といった大口取引では、その影響は大きい。また小口取引では、1回あたりの発注量が小ロットで、発注も不定時の場合が多いことから、手間はもちろん出荷や流通にかかるコストも割高となるため、そこが取引先のネックとなる場合が多い。さらに、販路を拡げていくうえで不可欠なフィレやロインなど加工処理の衛生管理や処理能力も検討課題となっている。</p>		
	今後の方向性	<p>○他産地の生産動向や県外の漁連・民間企業等の販売戦略に左右されない販売力（魚価形成、取引数量等）の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的かつ継続的な取引に不可欠な生産量の確保 ・品質面だけでなく生産履歴や生産者の顔、産地が見える情報発信による差別化の強化 ・ニーズに対応した、きめ細かなサービス等の提供及びコスト軽減も含めたハード、ソフト対策の充実 ・品質の優位性を取引価格等で評価してくれる取引先をターゲットとした営業活動による販路拡大 	

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大				
	関係市町村名	須崎市				
事業の概要	<p>1 販路開拓と出荷体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販促資材の作成、シーフードショーなど国内商談会等への参加、業務筋（個店）への直接営業活動 ・顧客ニーズに対応できる多様な出荷体制に必要なソフト、ハード対策（空輸便の利用・出荷施設整備の検証等） <p>2. 品質の維持向上と生産量の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産技術向上に関する定期研修や先進地視察、管理技術向上による規格魚歩留まりの向上 ・生産環境の更なる改善のための、自発的な環境調査 ・荷姿の工夫（魚函内の施水量や方法、吸水シートの利用等）等による品質保持対策の検討と実証 <p>3. 加工体制の強化・新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設の拡充等、加工体制の整備に向けた検討 ・販売力のある新商品の開発 					
	事業主体等	<p>【事業主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協深浦支所、土佐鯛工房、乙女会、（株）大東冷蔵、（有）小島水産 <p>【関係機関】</p>				
主な内容・スケジュール	販路開拓と出荷体制の強化	業務筋等への直接営業	業務筋等への直接営業	業務筋等への直接営業	業務筋等への直接営業	
		国内商談会への参加・視察	国内商談会への参加・視察	国内商談会への参加	国内商談会への参加	
		他産地の出荷体制や荷姿の研修	他産地の出荷体制や荷姿の研修	他産地の出荷体制や荷姿の研修	他産地の出荷体制や荷姿の研修	
品質の維持向上と生産量の確保	空輸便の利用・出荷施設整備の検証等（関係者協議、実証等）					
	生産環境の更なる改善のための自発的な環境調査					
	生産技術向上に関する定期研修や先進地視察、管理技術向上による規格魚歩留まりの向上					
加工体制の強化・新商品の開発	荷姿の工夫等の鮮度維持試験の実施					
	グループ毎又は地域での加工処理能力の拡大検討（加工施設の拡充等）					
指標・目標	項目	事業実施【H25】	1年後【H26】	2年後【H27】	3年後【H28】	
	出荷量	土佐鯛工房 乙女会	約70,000尾 約45,000尾	75,000尾 50,000尾	80,000尾 55,000尾	90,000尾 60,000尾
	【設定根拠】	【推計の考え方】				
	【考え方】	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐鯛工房における年間の最大生産能力は、9万尾。ただし、魚病や赤潮等による被害、海況、市況等の変化により生産量が目標値より減少する可能性有り。 ・乙女会における年間の最大生産能力は、6万尾。ただし、同上の理由で、生産量が変動する可能性有り。 				
総事業費等	<p>総事業費 34,500千円（うち24年度 1,000千円）</p> <p>（内訳 国： 県：17,250千円 市町村： その他：17,250千円）</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）</p> <p>国： 県：産業振興総合補助金 人的支援：</p> <p>その他：</p>					
備考						

追加項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
19 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大 《須崎市》	浦ノ内湾における養マダイ生産者グループと漁協、民間企業とが連携し、他産地の生産動向や県外大手出荷業者の販売戦略に左右されにくい販売力(魚価形成力、取引量の拡大等)を構築し、養殖業の振興に資する。	・高知県漁協深浦支所 ・土佐鯛工房 ・乙女会 ・(株)大東冷蔵 ・(有)小島水産			◆販路開拓と出荷体制の強化 ◆品質の維持・向上と生産量の確保 ◆加工体制の強化・新商品の開発

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	販路開拓と出荷体制の強化				販売数量 ・土佐鯛工房 (H24:約7万尾) ・乙女会 (H24:約4.5万尾)	・土佐鯛工房 約8万尾 ・乙女会 約5.5万尾
	業務筋等への直接営業・国内商談会等への出展・参加 空輸便の利用・出荷施設整備の検証等(関係者協議、実証等)					
	品質の維持・向上と生産量の確保					
	生産環境の更なる改善のための自発的な環境調査					
	管理技術向上による規格魚歩留向上、漁場拡大や生産者へのグループ加入呼びかけによる生産量の拡大					
	荷姿の工夫(魚箱内の施水量や方法、吸水シート)等による鮮度維持試験					
	加工体制の強化・新商品の開発					
	加工体制の機能強化に向けた検討		加工体制の機能強化			
	新商品の開発・衛生管理や処理能力のある加工業者との連携強化					

有望素材シート（25年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	須崎市	素材名	楠木鮮魚一
		関連素材	

現状・課題	<p><現状></p> <p>須崎市南地区大谷の双子大敷組合を主とする漁業者グループ「大谷地区鮮魚直売会」が運営する楠木鮮魚一（直売所名、H20年度に整備。以下、鮮魚一）は、定置網の魚介類を中心に、地元漁業者が釣った魚や野見湾産の養殖魚（マダイ、カンパチ）などを販売している。過去3年の鮮魚一における客人口は約2.5万人で、地域全体が賑わいをもち始めている。</p> <p>直売所の従業員として女性1人と男性2人をパート雇用しているが、構成員である双子大敷及び観音小敷の組合員や、タイ部会員も交代で店番を手伝うなど、地域全体で運営している。</p> <p>また、須崎市南地区にはコミュニティセンターかがやき（宿泊定員：42名）や民泊受入可能世帯（3軒）があり、観光客の宿泊が可能。</p>
	<p><課題></p> <p>鮮魚一の顧客は、地元住民が主であるが、最近では須崎市内や近隣市町村の飲食店に加え、地区外からの観光客が増加傾向にある。その中でも特に観光客から、「購入した鮮魚をその場で食べたい」という要望が多くあり、従業員がその都度調理し、提供しているが、飲食を行う場がなく、観光客は立った状態もしくは鮮魚一横にある3~4人が座れるベンチで刺身を食べざるを得ない状況にある。また、安定顧客である地元住民は高齢者が多いことから、今後現在の販売額を維持・増加させるためには、交流人口を増やし、地区外からの顧客を確保する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○楠木鮮魚一の売上維持・増加に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の拡大。 ・店舗への誘客促進。

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	楠木鮮魚一を活用した南地区の活性化
	関係市町村名	須崎市

事業の概要	<p>○交流人口の拡大に向けた、漁村の滞在・体験型の観光資源及び観光客受け入れ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時でも飲食可能な、簡易飲食スペース及び衛生管理の行える調理場の整備。 ・観光定置網、養殖魚の給餌体験等にかかる整備。 ・鮮魚一への活・鮮魚安定供給のための、調整用小割の整備。 ・情報発信システムの構築（地域PR資材等の作成を含む）。 ・新サービスの開発等。 ・産地情報発信による魚食普及活動。
-------	---

事業主体等	<p>【事業主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楠木鮮魚一（大谷漁協、野見漁協、双子大敷組合、観音小型定置組合、大谷漁協タイ部会） <p>【関係機関】</p>
-------	--

取組手順	事業実施【H25】	1年後【H26】	2年後【H27】	3年後【H28以降】
主な内容・スケジュール	漁村の滞在型・体験型観光資源及び観光客受け入れ施設の整備	観光定置網に向けた取り組み 養殖魚への給餌体験にかかる整備		
		簡易飲食スペース兼調理場の基本設計作成		簡易飲食スペース兼調理場の整備
		調整用小割の基本設計作成及び整備		PR資材等の作成
			新サービス開発及び情報発信システムの構築	
			産地情報発信による魚食普及活動	

指標・目標	項目	事業実施【H25】	1年後【H26】	2年後【H27】	3年後【H28以降】	
指標・目標	客人口	2.5万人	2.75万人	3万人	3.5万人	
	【設定根拠】	【推計の考え方】 H24年度における楠木鮮魚一の客人口は、2.5万人前後になる見通し。4年後のH28年度には、ある程度のハード及びソフト面の整備が進むことにより、現在より1万人以上の交流人口増加を目指す。				
		【考え方】				

総事業費等	総事業費	6,000千円	（うち25年度 3,000千円）		
	（内訳 国： 県：3,000千円 市町村： 其他：3,000千円）				
備考	想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	国： 県：産業振興総合補助金、生産基盤維持向上事業補助金 人的支援：			
	その他：				

追加項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
20 楠木鮮魚ーを活用した南地区の活性化 《須崎市》	須崎市南地区の漁業者グループにより構成・運営される鮮魚直売所の楠木鮮魚ーにて、滞在・体験型の観光資源及び施設を整備し地区への観光客を誘客すること、また定置の朝獲れ鮮魚や養殖魚といった野見湾の地魚を中心とした鮮魚商品の販売力を強化することにより、将来的な南地区の地域振興に資する。	・楠木鮮魚ー(大谷漁協 野見漁協 双子大敷組合 観音小型定置組合 大谷漁協タイ部会)			◆漁村の滞在型・体験型の観光資源及び観光客受け入れ施設の整備

H24	第2期計画			H28以降	指標及び目標	
	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
					交流人口 (H24:2.5万人)	3万人
	漁村の滞在型・体験型の観光資源及び観光客受け入れ施設の整備					
	観光定置網・養殖魚への給餌体験体制整備					
	簡易飲食スペース兼調理場の基本設計作成	簡易飲食スペース兼調理場の整備				
	調整用小割の基本設計及び整備					
	PR資材等の作成					
	新サービス開発及び情報発信システムの構築					
	産地情報発信による魚食普及活動					

